第31回日本小児リウマチ学会学術集会　若手優秀演題奨励賞候補演題募集要項

日本小児リウマチ学会では、未来の小児リウマチ学を担う若手小児リウマチ医の育成を目的として、学術集会における若手の優れた発表に対して、若手優秀演題奨励賞を授与しています。候補演題は公募となります。受賞者には特典がありますので、下記応募要項をご確認の上、奮ってご応募ください。

１．　募集部門

研究部門：臨床研究、基礎研究

症例部門：症例に関して病態あるいは治療についての検討

２．　応募規定

１）　応募資格

① 日本小児リウマチ学会会員であること（2022 年度の会費が納入済みであること）

② 前年度までの年会費を完納していること

③ 2022 年の 4 月 1 日に 40 歳未満、または卒業後 15 年未満であること

④ これまでに本賞の受賞歴がないこと

⑤ 指導者の推薦があること

⑥ 当該演題の内容に関して、論文の筆頭著者になるだけの contribution をしていること

２）　応募数の制限

すべての部門を通じて、一人一演題とする

３）　二重投稿の禁止

内容の全部、あるいは一部を他の学会（学会の全国レベルの学術集会、国際学会）や論文で発表したものは応募禁止とする

＊演題募集締め切り時に、他の学会に抄録が accept されているものは、二重投稿とみなす

＊違反した場合には、賞の剥奪と、違反の事実の学会ホームページ上での公開(施設名、氏名は非公開)、および所属施設の次年度の本賞への応募を禁止する

＊発表内容の一部を、共同演者の指導者がシンポジウムなどで使用することは制限しない

４）　倫理的配慮

＊介入研究、患者サンプルを用いての研究は、所属施設の倫理審査委員会の承認を得ること

＊症例報告は、患者あるいは代諾者の同意を得ること

５）　演題カテゴリについて

演題カテゴリの選択は応募者の判断によるが、査読の段階で学術委員会の判断でカテゴリを変更する場合がある

６）　カバーレターの提出

演題応募時に、以下の内容を含んだカバーレターに自筆署名して提出する（様式１）

<u>応募者、指導者とも自筆署名でないものは受け付けない</u>

① 当該演題の応募理由（なぜ、この演題を応募したか、何処がポイントと考えているか）

② 指導者の演者推薦文

③ 二重投稿でないことの誓約

④ 推薦者による、演者を 1st author としての論文投稿をすることの誓約

⑤ 倫理委員会の承認番号、COI

３．　審査

＊学術委員による査読により、各部門５演題以内を候補演題として選出する（選に漏れた演題は、一般演題とする）

＊候補演題となった演題は、学術集会で口演を行う

＊口演では発表時間の遵守が求められ、30 秒超過で減点、1 分超過した時点で失格とする

４．　受賞者の義務

受賞者は、受賞後 2 年以内に症例報告は Modern Rheumatology Case Report 以上、研究発表は Modern Rheumatology 以上のレベルの査読のある医学雑誌へ英文で投稿する

投稿状況を学会に報告する

５．　受賞者の特典

①論文作成にあたって、必要な場合は学術委員会委員が英文校閲も含め、サポートをする

②投稿料、掲載料、英文校正費用について、5 万円を上限として学会本体からサポートする

③受賞者には、2023 年度あるいは 2024 年度の以下の学会の学術集会のうちいずれか一つの参加費を、5 万円を上限として学会から提供する

＊ American College of Rheumatology
＊ European Alliance of Associations for Rheumatology
＊ Asia-Pacific League of Associations for Rheumatology
＊ Pediatric Rheumatology European Society
＊ 日本リウマチ学会
＊ 日本小児リウマチ学会

７．受賞演題情報の学会ホームページへの掲載について

- 受賞者名，受賞者所属，演題名，抄録，また，後日論文化された場合は論文の情報（著者，タイトル，雑誌名，巻・号・ページ，掲載年，doi）を学会ホームページに掲載する
- 本賞への応募をもって，これらの情報のホームページへの掲載を許諾したものとみなす